



第16回エクステリア施工コンテスト グランプリ受賞 浜松市T様邸 '99年7月撮影

アベ建材株式会社
代表取締役 阿部浩之氏 静岡県浜松市

綿密なデザインと施工技術で「作品」をめざす

●この住宅では敷地の関係上、エクステリアを構成する全ての要素(玄関、アプローチ、庭、カーポート等)を道路に面して横並びに構成することがデザインのポイントになっています。

施主様の要望は、「高い塀で囲って外から見えなくしてほしい」ということでしたが、道路から建物までの距離が十分ではないので、庭が想像以上に狭く感じられることと、景観としても重い印象になってしまうことが予想できたので、鋳物のフェンスを使用し、そこに蔦系の植物を這わせることでこの問題点をクリアしました。

●基本のスタイルとしてはセミオープンの外構に決定し、施主様の希望である「花を育てたり、庭で食事をしたり、家族で使う庭にしてほしい」というテーマのもとに花壇を作り、芝を植え、植栽をふんだんに取り入れて緑いっぱいのエクステリア空間を演出しています。そして設計の第一のポイントは庭をゆったり見せるために、空間の変化をフェンスのアーチに求めたことです。施工工程としては、まず土留堀をアールに作り、その上に鋳物のフェンスを納めていくわけですが、現場監督の指示のもと、その場で一つ一つアールに合わせて寸法をとりながら、ジョイント金具で調整施工いたしました。また、色も全体のバランスを考えて特注のグレーにし、鋳物門扉も同様の色に合わせました。

●第二のポイントは、庭を2つのタイプで構成していることです。この住宅は門扉を中心に右側が親世帯、左側が子世帯に分かれている二世帯住宅のため、子世帯側のガーデンアプローチには現代風に芝をしき枕木でアクセントをつけ、親側の庭には飛び石を使って日本庭園風に仕上げています。これは門を一步入らないと分からないほどの小さい表現ですが、それぞれの生活スタイルを大切にしたいとの思いからこのようにデザインしています。



'98年5月 施工完成時撮影



子世帯側のガーデンアプローチ